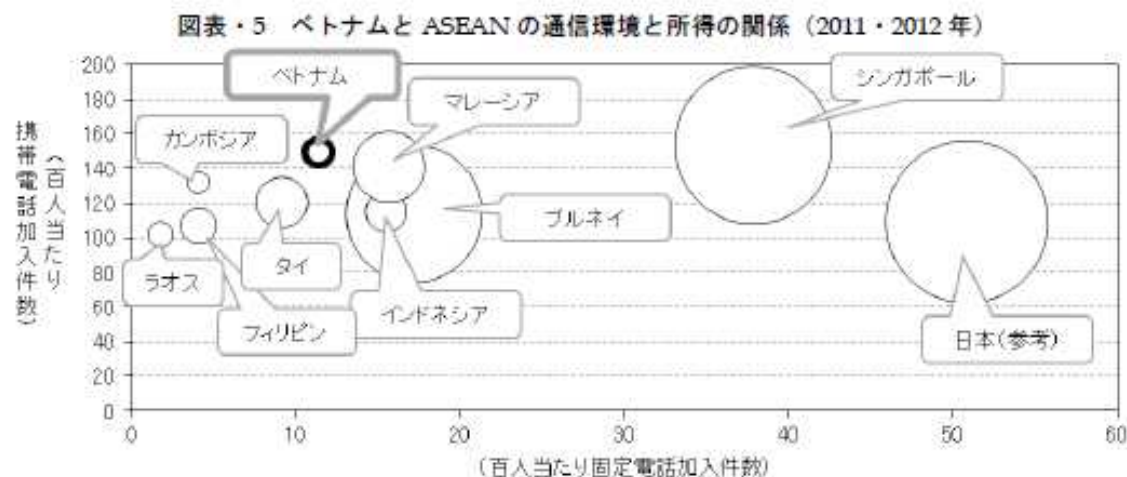


ベトナムとASEANのITの普及状況（1/2）

ベトナムとASEANの情報通信技術（Information Technology：IT）の普及状況を見ると、通信環境では**2012年**のベトナムの**百人当たり固定電話加入件数は11.6件**であり、**ASEANの中では第5位**となっている（図表・5）。また、2012年のベトナムの**百人当たり携帯電話加入件数は149.4件**であり、ASEANの中では**シンガポールに次いで**多くなっている。従って、ベトナムは所得が少ないものの、携帯電話の価格低下にあわせて固定電話以上に普及が進んでおり、携帯電話が人々のおもな通信手段となっていることが分かる。



注1：○の大きさは、2011年の一人当たりGNIの多さを表す。

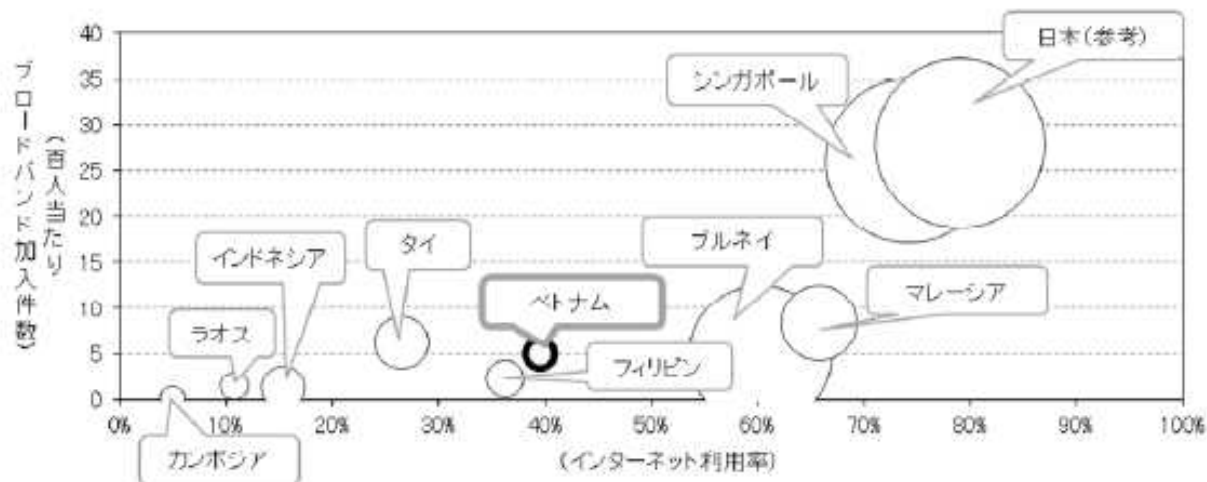
注2：データの不足しているミャンマーは、除く。

（出所）『World Development Indicators 2013』（世界銀行）・国際電気通信連合資料を基に作成

ベトナムとASEANのITの普及状況（2/2）

また、ベトナムとASEANのインターネット環境を見ると、**2012年のインターネット利用率・百人当たりブロードバンド加入件数はそれぞれ39.5%・5.0件**となっており、**ASEANの中ではそれぞれ第4位**となっている（図表・6）。ベトナムの2011年の**一人当たりGNIはASEANの中では第7位**であり、ベトナムでは**所得に比べてインターネットの普及が進んでいる**ことが分かる。ベトナムは携帯電話の普及が進んでおり、今後安価なスマートフォン・タブレットの導入にあわせて携帯電話からスマートフォン・タブレットに移行し、インターネットの普及が急速に進むことが見込まれる。

図表・6 ベトナムとASEANのインターネット環境と所得の関係（2011・2012年）



出所) 『World Development Indicators 2013』(世界銀行)・国際電気通信連合資料を基に作成